

為替相場展望

2012年4月



調査部 マクロ経済研究センター

<http://www.jri.co.jp/report/medium/publication/>

【目 次】

為替相場概説	1
相場回顧	2
為替関連指標の動向	3 ～ 6
トピックス	7
見通し	8
資料	

◆本資料は2012年4月3日9:00時点で利用可能な情報をもとに作成しています。

◆本資料に関するご照会は、下記までお願いいたします。

欧米経済・市場動向グループ

井上 肇 (Tel : 03-6833-0920 Mail : inoue.hajime@jri.co.jp)

為替相場概説（2012年4月）

1. 相場回顧

＜3月のドル円相場＞

3月のドル円相場は、①過去最大の赤字を記録した1月のわが国経常収支、②良好な米雇用統計、③日米の金融政策スタンスの違いへの意識、等を背景に、月半ばにかけて84円台まで円安ドル高が進行。もっとも、下旬には、低調な米住宅関連指標等を背景に、ドルが反落。月末は82円台後半。

＜3月のユーロ円相場＞

3月のユーロ円相場は、ギリシャの債務再編実施を受け、欧州債務問題への過度な懸念が和らぎ、下旬にかけて111円台まで円安ユーロ高が進行。もっとも、その後は、低調なユーロ圏景気指標が相次ぐなか、円安ユーロ高が一服。月末は、110円台後半。

2. 為替関連指標の動向

＜日米独金利差と日米欧の金融政策＞

3月の米金利、独金利は月半ばにかけて上昇したものの、月後半に反落。一方、わが国の金利は底這い推移。この結果、月半ばにかけて内外金利差が拡大し、対ドル、対ユーロでの円安進行をサポートしたものの、月後半は内外金利差が縮小し、円高修正の流れが一服。先行きを展望すると、米金利は緩やかな上昇にとどまる見込みであるほか、独金利は低位での一進一退となる見込み。この結果、内外金利差の大幅拡大は期待薄であり、対ドル、対ユーロでの円安進行余地は限られる見込み。もっとも、日銀の金融政策に対する市場の感応度が高まっており、日銀の金融政策次第では、相場が大きく変動する可能性も。

＜日米欧の貿易収支・経常収支＞

1月のわが国貿易収支は、原数値では7ヵ月ぶりに329億円の黒字に転換。もっとも、当面を展望すると、貿易収支の黒字基調回復にはなお時間がかかり、引き続き実需面からの円高圧力は限られる見込み。ただし、経常黒字が維持されるもと、大幅な円安も期待薄。

1月の米貿易赤字は、2008年10月以来の高水準まで拡大。2011年10～12月期の米経常赤字も拡大しており、実需面からはドル安圧力が強まる方向。

1月のユーロ圏の貿易収支は、3ヵ月連続の黒字。同月の経常収支も2ヵ月連続の黒字となり、実需面からはユーロ下支えに作用。

＜日本の対内対外証券投資動向＞

2月以降の海外投資家による対内証券投資は、短期債への資金流入に歯止めがかかるなか、買い越し額（資金流入）が減少傾向。一方、国内投資家による対外証券投資は、中長期債への投資が回復傾向となり、買い越し額（資金流出）が高水準で推移したものの、3月入り後は年度末を控えた国内資本回帰の動きが顕在化。わが国では、経常黒字が維持されるもと、国内投資家

による円売りを伴う対外証券投資の活発化が円安ドライバーのひとつとして重要であるものの、国内投資家はリスクに見合ったリターンを確保しにくくなっており、当面、国内投資家の対外投資慎重姿勢が続く可能性。

＜米国の証券投資・IMM通貨先物＞

1月までの米国の証券投資は、海外からの対米証券投資が買い越し（資金流入）基調となる一方、米国からの対外証券投資は売り越し（資金流入）基調。先行きを展望すると、欧州債務問題や世界経済の先行きに対する不透明感が残るなか、海外投資家による米国債への資金逃避の動きや、米国投資家による対外投資慎重姿勢が引き続きドルの下支えに作用する公算が大。

円ポジションは、円売り持ちポジションが直近の3月27日時点で2010年5月以来の高水準まで拡大。投機筋の円売り余力が乏しくなるなか、投機筋主導による円安進行余地は限られる見込み。一方、ユーロポジションは、ユーロ売り持ちポジションが直近の3月27日時点で昨年11月以来の水準まで縮小しており、先行きはユーロ安にもユーロ高にも振れやすい情勢。

3. トピックス

＜金利差に見合う水準から乖離したドル円相場＞

2月中旬以降、日米金利差の拡大に見合う水準以上に円安ドル高が進行。ドル円相場の金利差に見合う水準からの乖離は、投機筋が円買い姿勢から円売り姿勢にスタンスを変更し、ポジションを転換させた影響が大。足許、投機筋の円売り余力が乏しくなるなか、投機筋主導による円安進行余地は限られつつある状況であり、先行き一段の円安進行には、他の主体の円売りが必要。金利差に敏感に反応するとみられる国内投資家の対外証券投資の活発化にはなお時間がかかるとみられるものの、輸入代金を確保する必要のある国内企業や対外直接投資を行おうとする国内企業などの実需の円売りドル買いが進めば、円安ドライバーとなる可能性。

4. 見通し

＜ドル円相場の見通し＞

ドル円相場は、①米国景気の回復期待、②日銀への追加緩和期待、③為替需給面での円高圧力減退、等を背景に、ドルが底堅く推移する見込み。もっとも、米国の超低金利政策の長期化が見込まれるなか、大幅な円安ドル高進行は期待薄。80～85円を中心とした円高値圏での推移が長期化する見通し。

＜ユーロ円相場の見通し＞

ユーロ円相場は、債務問題に対する懸念が和らぐなか、短期的にはユーロが底堅く推移する見通し。もっとも、今後も債務問題が断続的に蒸し返される展開が予想されるほか、ユーロ圏景気が日米対比で軟調に推移する見込みであること等から、早晚、ユーロ安基調に復帰する見通し。

相場回顧

対ドルで一時84円台、対ユーロで111円台まで円安が進行するも、月末にかけては、円高修正の流れが一服。

＜3月のドル円相場＞

上旬は、①過去最大の赤字を記録した1月のわが国経常収支、②良好な米雇用統計、等を背景に、82円台まで円安ドル高が進行。さらに、中旬には、日銀が積極的な緩和姿勢を継続するとの見方が広がる一方、米FOMC声明で景気判断が上方修正されたことでFRBによる追加緩和（QE3）観測が後退するなど、日米の金融政策スタンスの違いが意識されるなか、15日に一時約11ヵ月ぶりとなる84円台まで円安ドル高が進行。もっとも、下旬には、①2月のわが国貿易収支の黒字転換、②低調な米住宅関連指標、等を背景に、ドルが反落。月末は82円台後半。

＜3月のユーロ円相場＞

月初、ギリシャの債務再編への不透明感が強まるなか、105円台までユーロが下落したものの、その後は、①過去最大の赤字を記録した1月のわが国経常収支、②混乱なきギリシャの債務再編実施を受けた欧州債務問題に対する過度な懸念の後退、③良好な独景気指標、等を背景に、下旬にかけて4ヵ月半ぶりに一時111円台まで円安ユーロ高が進行。もっとも、その後は、①2月のわが国貿易収支の黒字転換、②低調なユーロ圏景気指標、③スペインをはじめ欧州債務問題に対する根強い懸念、等を背景に、円安ユーロ高が一服。月末は110円台後半。

ドル円相場の推移



(資料)Bloomberg L.P.

ユーロドル相場の推移



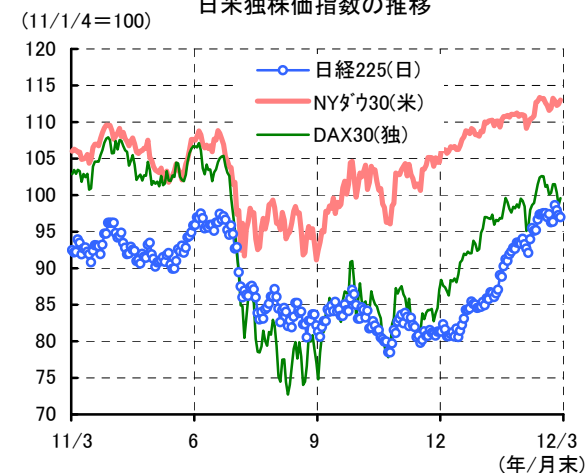
(資料)Bloomberg L.P.

ユーロ円相場の推移



(資料)Bloomberg L.P.

日米独株価指数の推移



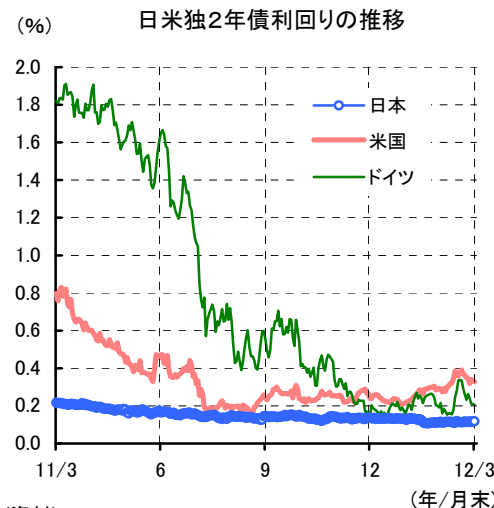
(資料)Bloomberg L.P.

(株)日本総合研究所 為替相場展望 2012年4月

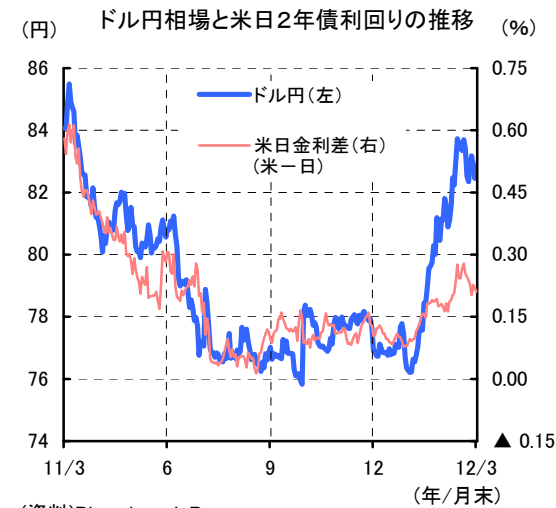
金利差からは、円安進行余地は限られる見込み。もっとも、日銀の金融政策への市場の感応度が高まるなか、金融政策次第で相場が大きく変動する可能性も。

3月の米金利（2年債利回り、以下同じ）は、良好な雇用統計やF R Bによる景気判断の上方修正等を背景に、月半ばにかけて上昇したものの、月後半は、低調な住宅関連指標等を背景に反落。独金利は、混乱なきギリシャの債務再編実施や良好な独景気指標等を背景に、月半ばにかけて上昇したものの、月後半は、債務問題に対する根強い懸念等を背景に、反落。わが国の金利は、日銀による追加緩和が見送られたものの、追加緩和への期待が根強いなか、底這い推移。この結果、月半ばにかけて内外金利差が拡大し、対ドル、対ユーロでの円安進行をサポートしたものの、月後半は内外金利差が縮小し、円高修正の流れが一服。

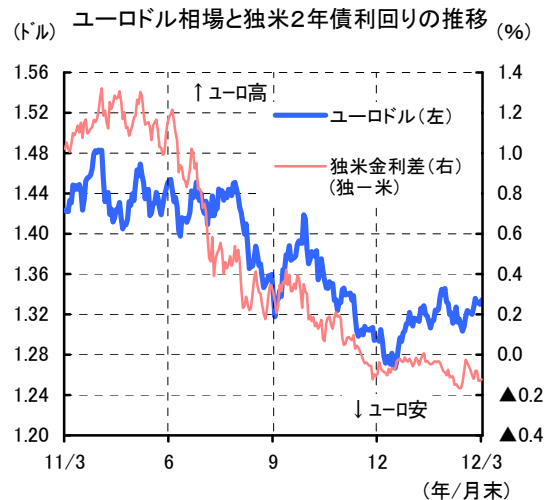
先行きを展望すると、米金利は、景気回復期待や原油高を受けたインフレ懸念等が金利押し上げに作用する一方、F R Bによる超低金利政策の長期化観測等が金利上昇を抑制し、緩やかな上昇にとどまる見込み。独金利は、債務問題の収束に向けた対策進展が金利押し上げに作用する一方、①ユーロ圏景気の悪化、②E C Bによる低金利政策の長期化観測、③債務問題に対する根強い不安、等が金利上昇を抑制し、低位での一進一退となる見込み。一方、わが国では、金利低下余地が限られるなか、日銀による追加緩和が実施されても、これ以上の金利低下は困難。この結果、内外金利差の大幅拡大は期待薄であり、対ドル、対ユーロでの円安進行余地は限られる見込み。もっとも、2月の日銀による予想外の追加緩和を契機に、日銀の金融政策に対する市場の感応度が高まっており、日銀の金融政策次第では、相場が大きく変動する可能性も。



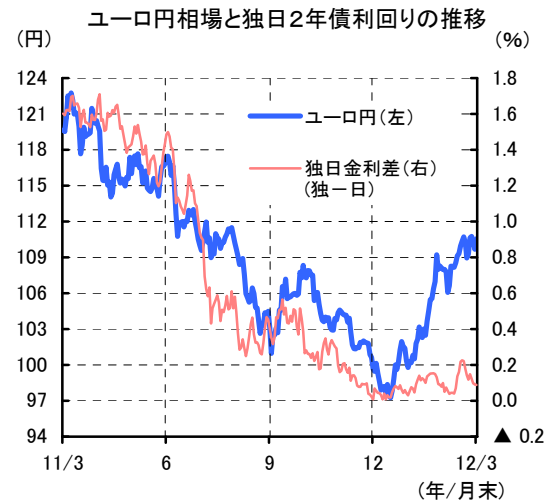
(資料)Bloomberg L.P.



(資料)Bloomberg L.P.



(資料)Bloomberg L.P.



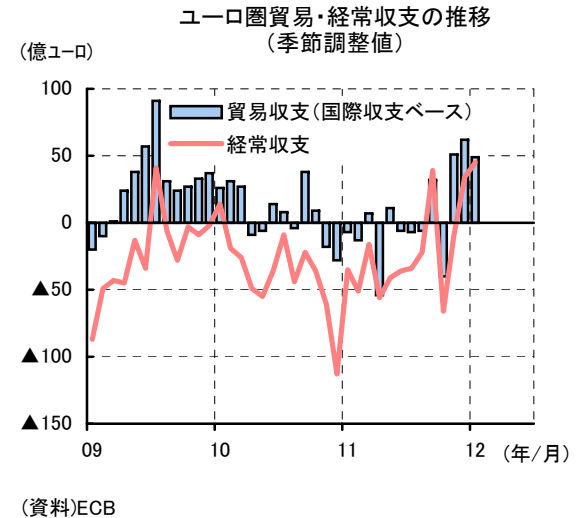
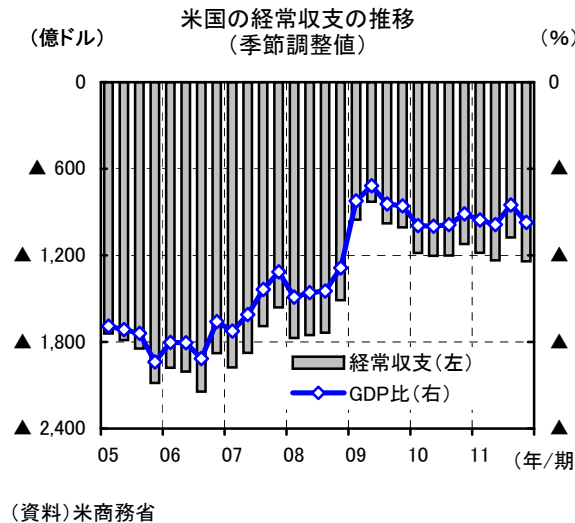
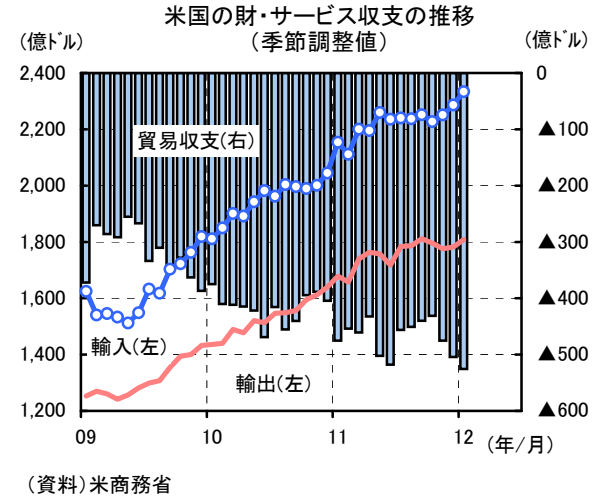
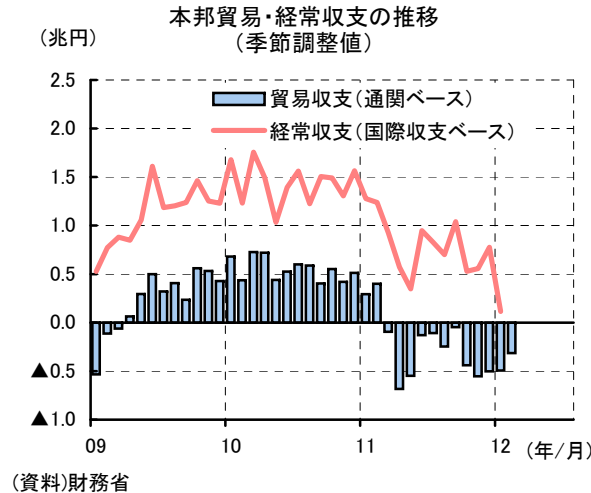
(資料)Bloomberg L.P.

わが国貿易収支の黒字基調回復にはなお時間。実需面からの円高圧力は限定的となる見込み。もっとも、経常黒字が維持されるもと、大幅な円安も期待薄。

1月の本邦貿易収支は、季調値では依然として赤字ながら、原数値では7ヵ月ぶりに329億円の黒字に転換。市場の事前予想では貿易赤字が見込まれていたこともあり、貿易赤字を材料とした円安期待はやや後退。もっとも、当面を展望すると、海外景気の回復の遅れ等により輸出の低迷が長引く一方、原発停止に伴う燃料輸入の増加や資源価格の上昇等を受けて輸入は上振れしやすい状況が続く見通し。この結果、貿易収支の黒字基調回復にはなお時間がかかり、引き続き実需面からの円高圧力は限定的となる見込み。もっとも、所得収支黒字に支えられ、経常黒字が維持されるもと、大幅な円安も期待薄。

1月の米貿易赤字は、輸入の増加を受け、2008年10月以来の高水準となる▲526億ドルに拡大。2011年10～12月期の米経常赤字も▲1,241億ドル（対名目GDP比▲3.24%）に拡大しており、実需面からはドル安圧力が強まる方向。

1月のユーロ圏の貿易収支は、49億ユーロと3ヵ月連続の黒字。同月の経常収支も45億ユーロと2ヵ月連続の黒字となり、実需面からはユーロ下支えに作用。



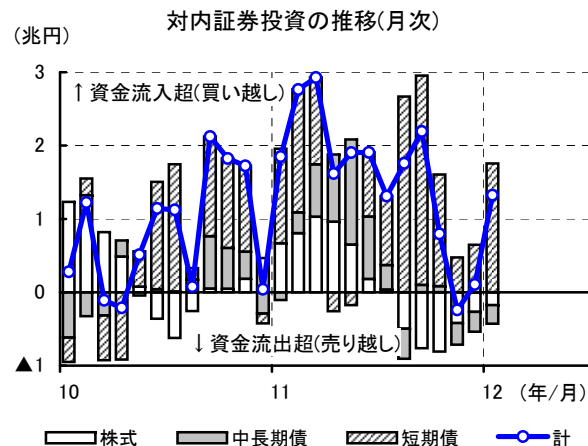
日本の対内対外証券投資動向

国内投資家による円売りを伴う対外証券投資が活発化が円安ドライバーのひとつとして重要であるものの、当面、対外投資の慎重姿勢が続く可能性。

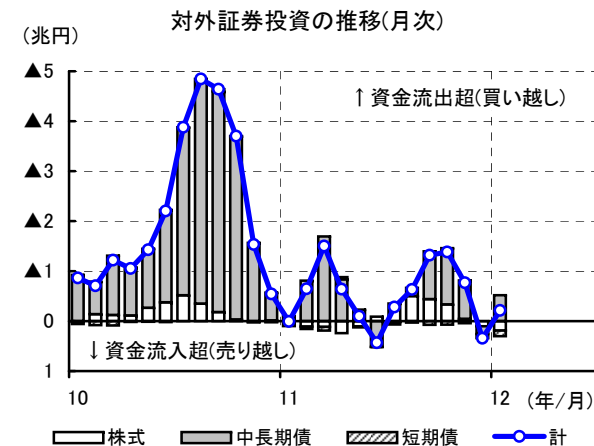
1月までの本邦証券投資は、海外投資家による対内証券投資が、短期債への投資を中心に堅調に推移する一方、国内投資家による対外証券投資は、中長期債への投資が売り越し超となるなど、低調に推移。

2月以降、海外投資家による対内証券投資は、短期債への資金流入に歯止めがかかるなか、買い越し額（資金流入）が減少傾向。一方、国内投資家による対外証券投資は、中長期債への投資が回復傾向となり、買い越し額（資金流出）が高水準で推移したものの、3月入り後は年度末を控えた国内資本回帰の動きが顕在化。

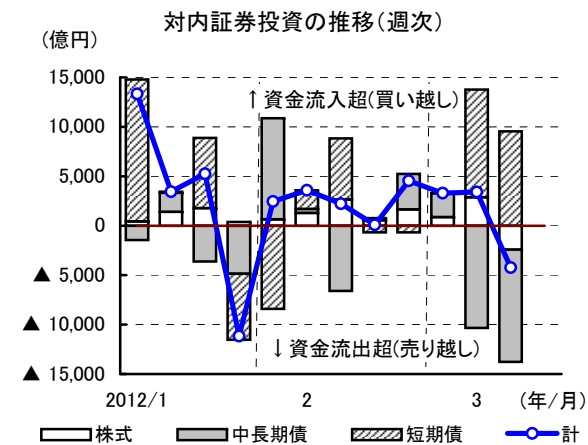
わが国では、所得収支黒字に支えられ経常黒字が維持されるもと、国内投資家による円売りを伴う対外証券投資の活発化が円安ドライバーのひとつとして重要。もともと、①欧州債務問題や世界経済の先行きが依然不透明であること、②米欧などで低金利政策の長期化が見込まれ、金利差の観点からは投資妙味が乏しくなっていること、等を踏まえると、債券投資を主体とする国内投資家は、リスク（ボラティリティ）に見合ったリターンを確保しにくくなっており、当面、国内投資家の対外投資慎重姿勢が続く可能性。



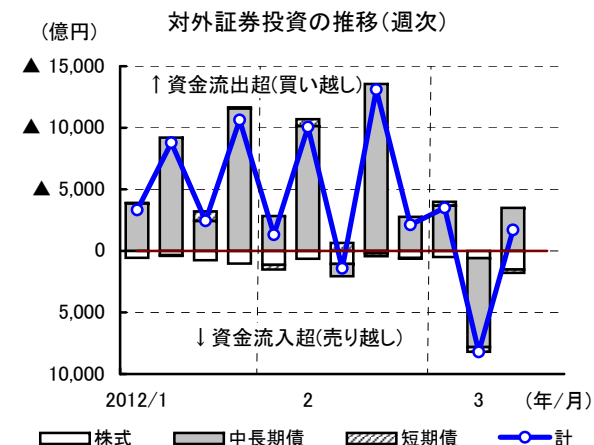
(資料)財務省、日銀「国際収支状況」
(注)いずれも3カ月移動平均値。



(資料)財務省、日銀「国際収支状況」
(注)いずれも3カ月移動平均値。



(資料)財務省「対外及び対内証券売買契約等の状況」
(注)指定報告機関ベース。



(資料)財務省「対外及び対内証券売買契約等の状況」
(注)指定報告機関ベース。

(株)日本総合研究所 為替相場展望 2012年4月

米国の証券投資を通じた資金流入がドルの下支えに作用。投機筋の円売りポジションは高水準となり、投機筋主導による円安進行余地は限られる見込み。

〈米国の対内対外証券投資動向〉

1月までの米国の証券投資は、海外からの対米証券投資が買い越し（資金流入）基調となる一方、米国からの対外証券投資は売り越し（資金流出）基調。なかでも、1月の海外からの対米証券投資は、中長期国債への投資増を受け、2010年8月以来1年5ヵ月ぶりの高水準に。

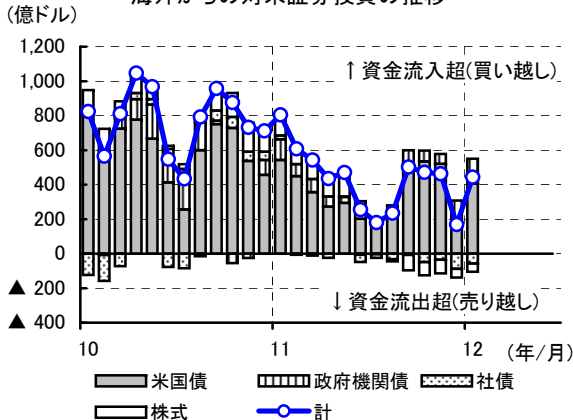
先行きを展望すると、欧州債務問題や世界経済の先行きに対する不透明感が残るなか、海外投資家による米国債への資金逃避の動きや、米国投資家による対外投資慎重姿勢が引き続きドルの下支えに作用する公算が大。

〈IMM通貨先物ポジション〉

円ポジションは、2月中旬以降、円買い持ちポジションが解消され、3月初めに円売り持ち超に転換。円売り持ちポジションは、直近の3月27日時点で2010年5月以来の高水準まで拡大。投機筋の円売り余力が乏しくなるなか、投機筋主導による円安進行余地は限られる見込み。

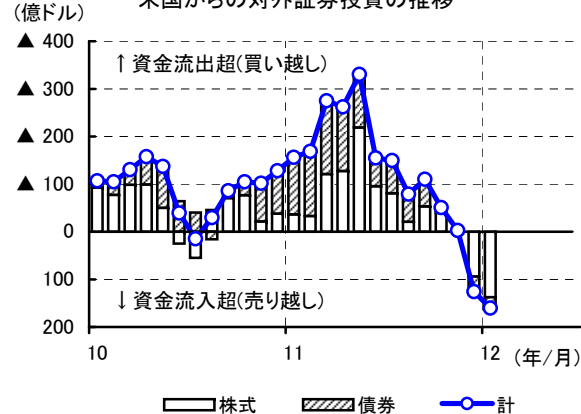
ユーロポジションは、債務問題への懸念が和らぐなか、1月下旬以降、ユーロ売り持ちポジションが縮小。売り持ちポジションは、直近の3月27日時点で昨年11月以来の水準まで縮小しており、先行きはユーロ安にもユーロ高にも振れやすい情勢。

海外からの対米証券投資の推移



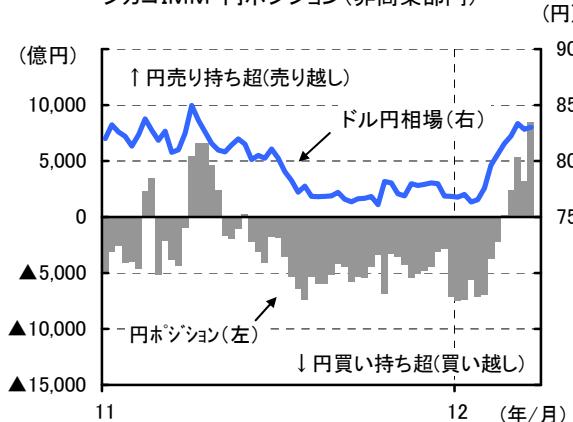
(資料)米財務省
(注)いずれも3ヵ月移動平均値。

米国からの対外証券投資の推移



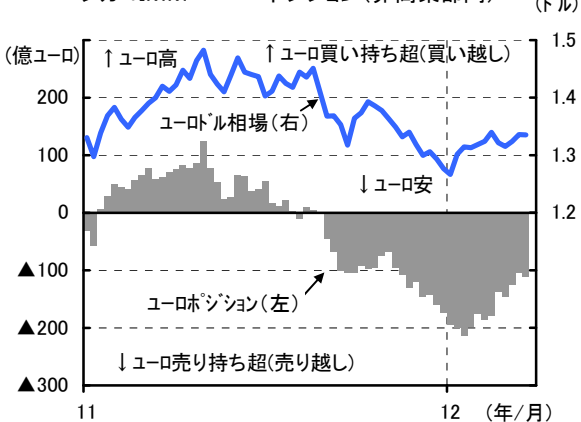
(資料)米財務省
(注)いずれも3ヵ月移動平均値。

シカゴIMM・円ポジション(非商業部門)



(資料)米CFTC
(注)直近値は3/27。

シカゴIMM・ユーロポジション(非商業部門)



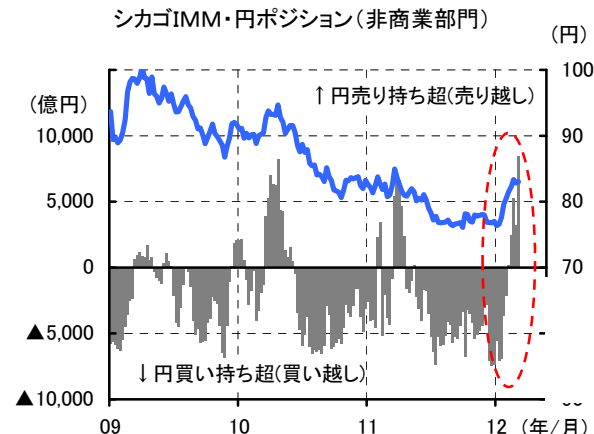
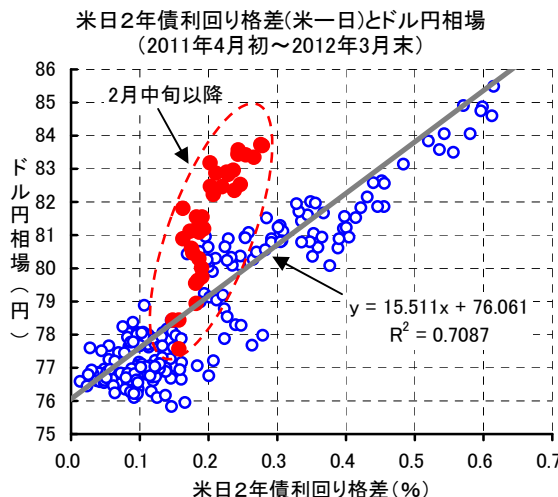
(資料)米CFTC
(注)直近値は3/27。

金利差に見合う水準からの乖離は、投機筋のスタンス変更の影響が大。投機筋の円売り余力に限られるなか、一段の円安進行には、他の主体の円売りが必要。

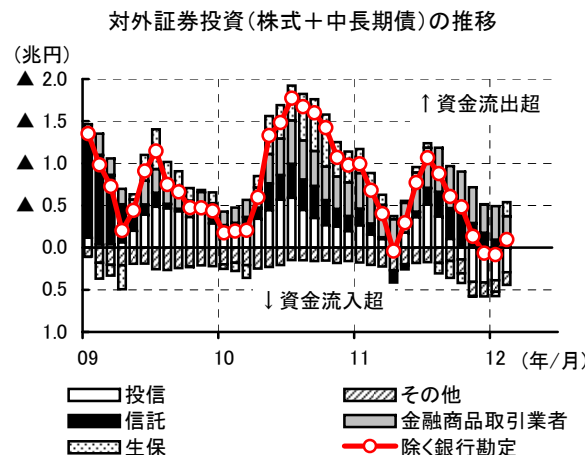
ドル円相場は、従来、米日2年債利回り格差と高い相関。もっとも、2月中旬以降、日米金利差の拡大に見合う水準以上に円安ドル高が進行。過去1年間の日米金利差とドル円相場の相関を基に試算すると、足許の金利差に見合うドル円相場の水準は、79～80円程度。

ドル円相場の金利差に見合う水準からの乖離は、同期間のIMM通貨先物取引の動向が示すように、投機筋が円買い姿勢から円売り姿勢にスタンスを変更し、ポジションを転換させた影響が大。今後の円売り材料次第では、投機筋の円売りが一段と強まるリスクは排除できないものの、足許、投機筋の円売り持ちポジションが2010年5月以来の高水準にまで拡大し、円売り余力が乏しくなるなか、投機筋主導による円安進行余地は限られつつある状況。

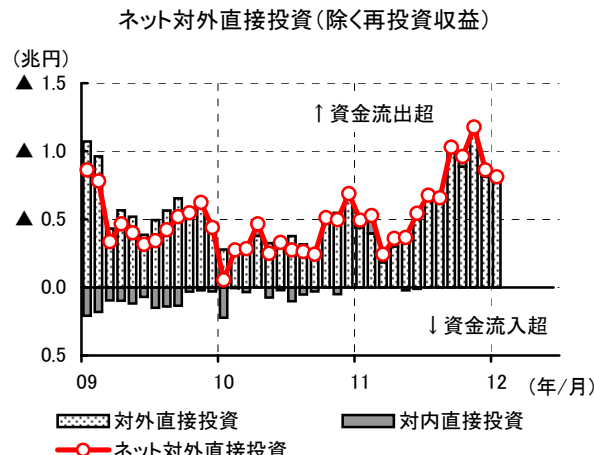
こうしたなか、先行き一段の円安進行には、他の主体の円売りが必要。欧米での金融緩和の長期化が見込まれるなか、金利差に敏感に反応するとみられる国内投資家の対外証券投資の活発化にはなお時間がかかるとみられるものの、輸入代金を確保する必要がある国内企業や対外直接投資（対外M&Aも含む）を行おうとする国内企業などの実需の円売りドル買いが進めば、円安ドライバーとなる可能性。



(資料)米CFTC
(注)直近値は3/27。



(資料)財務省「対外及び対内証券売買契約等の状況」
(注)3ヵ月移動平均値。指定報告機関ベース。



(資料)財務省、日銀「国際収支状況」
(注)いずれも3ヵ月移動平均値。

見通し

ドル円は、ドルが底堅く推移するも、持続的かつ大幅な円安ドル高進行は期待薄。この結果、80～85円を中心とした円高値圏での推移が長期化する見通し。ユーロは、短期的に底堅く推移するも、早晚ユーロ安基調に復帰する見通し。

＜ドル円相場の見通し＞

ドル円相場は、①米国景気の回復期待と米F R Bによる追加緩和観測の後退、②日銀への追加緩和期待、③わが国貿易収支の悪化等による為替需給面での円高圧力の減退、等を背景に、ドルが底堅く推移する見込み。もっとも、米国景気の力強い回復が期待薄であるなか、米F R Bによる超低金利政策の長期化が見込まれることから、持続的かつ大幅な円安ドル高進行は期待薄。加えて、2013年入り後は、財政再建等の影響を受けた米国景気の下振れがドル弱材料となる可能性。この結果、ドル円相場は80～85円を中心とした円高値圏での推移が長期化する見通し。

＜ユーロ円相場の見通し＞

ユーロ円相場は、ギリシャの無秩序なデフォルト（債務不履行）が当面回避され、債務問題に対する懸念が和らぐなか、短期的にはユーロが底堅く推移する見通し。もっとも、①フランスの大統領選挙やギリシャの総選挙結果を巡る不透明感が残っていること、②ギリシャやスペインの財政再建やポルトガルの追加救済等に対する懸念がくすぶるなか、債務問題が断続的に蒸し返される展開が予想されること、③南欧諸国を中心とした緊縮財政や銀行貸出厳格化等により、ユーロ圏景気が日米対比で軟調に推移する見込みであること、等から、早晚ユーロ安基調に復帰する見通し。

ドル円相場見通し

	2012年				2013年
	1～3	4～6	7～9	10～12	1～3
期中平均	79.3	82.5	83.0	83.0	82.5
(高値)	84.2	85	86	86	86
レンジ	5	5	5	5	5
(安値)	76.0	78	79	80	80

予測

ユーロ円相場見通し

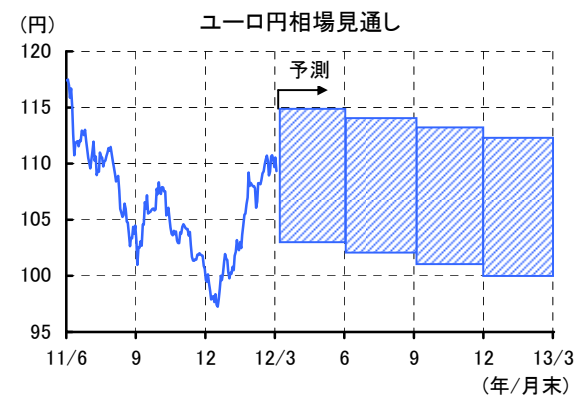
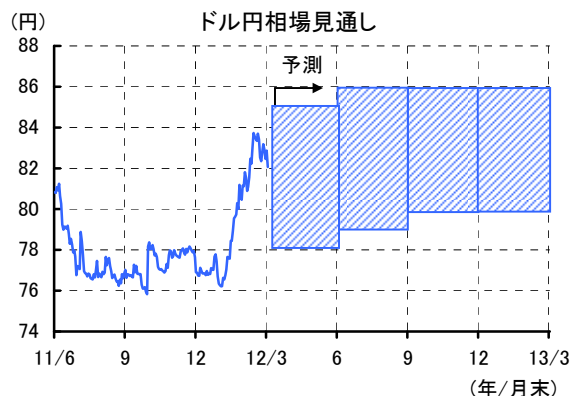
	2012年				2013年
	1～3	4～6	7～9	10～12	1～3
期中平均	104.0	109	108	107	106
(高値)	111.4	115	114	113	112
レンジ	5	5	5	5	5
(安値)	97.0	103	102	101	100

予測

ユーロドル相場見通し

	2013年				
期中平均	1.31	1.32	1.30	1.29	1.28
(高値)	1.35	1.39	1.37	1.36	1.35
レンジ	5	5	5	5	5
(安値)	1.26	1.25	1.23	1.22	1.21

予測



(株)日本総合研究所 為替相場展望 2012年4月

内外市場データ（月中平均）

	短期金利		ユーロ円(TIBOR)		円・円スワップ			国債 10年物 (%)	プライムレート		為替相場		日経平均 株価 (円)	米国市場				欧州市場	
	公定歩合 (%)	無担0/N (%)	3ヵ月 (%)	6ヵ月 (%)	2年 (%)	5年 (%)	10年 (%)		短期 (%)	長期 (%)	¥/\$	¥/Eur		F F 0/N	ユー3ヵ月	10年国債	N Y ダウ 工業株	ユー3ヵ月	10年国債
09/1	0.30	0.120	0.73	0.78	0.75	0.94	1.26	1.25	1.475	2.25	90.41	119.68	8331.49	0.15	1.73	2.47	8396.20	2.45	3.09
09/2	0.30	0.111	0.71	0.77	0.72	0.89	1.19	1.29	1.475	2.25	92.50	118.33	7694.78	0.22	1.65	2.85	7749.01	1.96	3.17
09/3	0.30	0.100	0.68	0.75	0.74	0.91	1.25	1.30	1.475	2.25	97.87	127.44	7764.58	0.18	1.62	2.80	7235.47	1.63	3.06
09/4	0.30	0.104	0.62	0.72	0.75	0.99	1.39	1.44	1.475	2.30	99.00	130.50	8767.96	0.15	1.49	2.90	7992.12	1.42	3.19
09/5	0.30	0.102	0.58	0.70	0.69	0.94	1.36	1.44	1.475	2.10	96.30	131.92	9304.43	0.17	1.23	3.30	8398.37	1.28	3.42
09/6	0.30	0.104	0.56	0.68	0.68	0.92	1.41	1.47	1.475	2.10	96.52	135.46	9810.31	0.21	1.07	3.70	8593.00	1.23	3.55
09/7	0.30	0.102	0.56	0.67	0.62	0.86	1.37	1.34	1.475	1.90	94.50	133.00	9691.12	0.16	0.91	3.53	8679.75	0.95	3.36
09/8	0.30	0.106	0.55	0.66	0.60	0.88	1.46	1.37	1.475	1.95	94.84	135.40	10430.35	0.16	0.69	3.57	9375.06	0.83	3.33
09/9	0.30	0.102	0.53	0.65	0.56	0.83	1.41	1.31	1.475	1.80	91.49	132.80	10302.87	0.15	0.53	3.39	9634.97	0.73	3.29
09/10	0.30	0.106	0.53	0.64	0.58	0.86	1.47	1.33	1.475	1.70	90.29	133.87	10066.24	0.12	0.49	3.36	9857.34	0.69	3.23
09/11	0.30	0.105	0.52	0.63	0.56	0.83	1.48	1.35	1.475	1.85	89.19	132.98	9640.99	0.12	0.25	3.38	10227.55	0.67	3.28
09/12	0.30	0.101	0.47	0.59	0.48	0.71	1.39	1.26	1.475	1.65	89.55	130.95	10169.01	0.12	0.25	3.59	10433.44	0.67	3.23
10/1	0.30	0.096	0.45	0.57	0.48	0.72	1.42	1.33	1.475	1.65	91.16	130.30	10661.62	0.12	0.24	3.71	10471.24	0.63	3.29
10/2	0.30	0.101	0.44	0.56	0.47	0.72	1.41	1.33	1.475	1.65	90.28	123.58	10175.13	0.13	0.23	3.68	10214.51	0.60	3.19
10/3	0.30	0.097	0.44	0.55	0.46	0.71	1.40	1.34	1.475	1.60	90.52	122.96	10671.49	0.16	0.23	3.71	10677.52	0.59	3.13
10/4	0.30	0.093	0.41	0.52	0.47	0.72	1.40	1.35	1.475	1.65	93.38	125.57	11139.77	0.20	0.25	3.82	11052.15	0.59	3.09
10/5	0.30	0.091	0.39	0.50	0.48	0.69	1.34	1.27	1.475	1.60	91.74	114.68	10103.98	0.20	0.36	3.40	10500.19	0.63	2.80
10/6	0.30	0.095	0.39	0.50	0.47	0.65	1.27	1.20	1.475	1.45	90.92	110.99	9786.05	0.18	0.45	3.19	10159.25	0.66	2.63
10/7	0.30	0.094	0.37	0.49	0.45	0.59	1.16	1.09	1.475	1.45	87.72	111.81	9456.84	0.18	0.43	2.98	10222.24	0.79	2.65
10/8	0.30	0.095	0.37	0.49	0.43	0.54	1.04	0.98	1.475	1.45	85.47	110.36	9268.24	0.19	0.35	2.68	10350.40	0.83	2.37
10/9	0.30	0.090	0.36	0.47	0.41	0.55	1.13	1.06	1.475	1.45	84.38	109.94	9346.72	0.20	0.31	2.64	10598.07	0.83	2.34
10/10	0.30	0.091	0.34	0.45	0.38	0.47	0.97	0.89	1.475	1.30	81.87	113.65	9455.09	0.19	0.29	2.51	11044.49	0.94	2.37
10/11	0.30	0.091	0.34	0.45	0.40	0.55	1.12	1.05	1.475	1.40	82.48	112.64	9797.18	0.20	0.29	2.75	11198.31	0.98	2.56
10/12	0.30	0.087	0.34	0.45	0.41	0.64	1.27	1.19	1.475	1.60	83.41	110.28	10254.46	0.18	0.29	3.28	11465.26	0.95	2.96
11/1	0.30	0.085	0.34	0.45	0.41	0.64	1.27	1.21	1.475	1.50	82.63	110.53	10449.53	0.17	0.29	3.36	11802.37	0.95	3.05
11/2	0.30	0.093	0.34	0.45	0.43	0.71	1.34	1.28	1.475	1.65	82.53	112.70	10622.27	0.16	0.31	3.56	12190.00	1.04	3.23
11/3	0.30	0.085	0.34	0.45	0.40	0.64	1.29	1.25	1.475	1.60	81.79	114.48	9852.45	0.14	0.31	3.40	12081.48	1.13	3.25
11/4	0.30	0.062	0.33	0.44	0.39	0.65	1.32	1.27	1.475	1.70	83.35	120.34	9644.63	0.10	0.27	3.43	12434.88	1.27	3.35
11/5	0.30	0.069	0.33	0.44	0.37	0.56	1.19	1.14	1.475	1.55	81.23	116.03	9650.78	0.09	0.26	3.15	12579.99	1.38	3.11
11/6	0.30	0.069	0.33	0.44	0.37	0.54	1.15	1.13	1.475	1.50	80.51	115.82	9541.53	0.09	0.24	2.99	12097.31	1.43	2.97
11/7	0.30	0.073	0.33	0.44	0.37	0.53	1.13	1.11	1.475	1.50	79.47	113.52	9996.68	0.07	0.22	2.98	12515.68	1.54	2.78
11/8	0.30	0.081	0.33	0.44	0.33	0.46	1.03	1.02	1.475	1.35	77.22	110.62	9072.94	0.10	0.26	2.29	11326.62	1.50	2.25
11/9	0.30	0.080	0.33	0.43	0.34	0.46	1.00	1.00	1.475	1.40	76.84	105.89	8695.42	0.08	0.31	1.96	11175.45	1.48	1.87
11/10	0.30	0.081	0.33	0.43	0.35	0.47	1.01	1.01	1.475	1.40	76.77	105.24	8733.56	0.07	0.36	2.13	11515.93	1.51	2.04
11/11	0.30	0.073	0.31	0.41	0.35	0.45	0.95	0.94	1.475	1.40	77.54	105.05	8506.11	0.08	0.36	2.00	11804.33	1.43	1.95
11/12	0.30	0.078	0.33	0.43	0.38	0.49	1.00	1.00	1.475	1.40	77.85	102.54	8505.99	0.07	0.37	1.97	12075.68	1.36	1.99
12/1	0.30	0.081	0.33	0.43	0.37	0.47	0.98	0.97	1.475	1.40	76.97	99.35	8616.71	0.09	0.35	1.94	12550.89	1.16	1.86
12/2	0.30	0.085	0.33	0.44	0.35	0.46	0.98	0.96	1.475	1.40	78.45	103.85	9242.33	0.12	0.32	1.96	12889.05	0.98	1.90
12/3	0.30	0.084	0.33	0.44	0.35	0.48	1.04	1.00	1.475	1.35	82.43	108.83	9962.35	0.14	0.30	2.16	13079.47	0.76	1.88

（注）公定歩合とプライムレートは月末値。